

テーマ：2050年までをシミュレーションし、創造する。

2022年度までのテーマ「次世代の横浜・神奈川地域像を素描する」においては、2030年代半ばから2050 年まで頃を想定して、「バックキャスティング」手法により、目指すべき将来ビジョンを明確にしつつ、 現在起こすべきアクションを考えることを行なった。

今年度のテーマは、昨年度に引き続き、「2050年までをシミュレーション し、創造する。」をテーマとする。2050年を「鮮やかに創造」できるようになるよう、「客観的な分析 を通じたシミュレーション力」と「学際的な視点や知識を融合した創造力」を養うことを目標として、 各講義とグループワークを実施する。

●グループワーク 2050年は具体的にどのような状況になりそうなのか、対象地域を選定し、資料、データ、現地調査、ヒアリング調査等により客観的に分析し2050年までの状況をシミュレーションする。分析・シミュレーションを踏まえて、どのような方法で課題を克服していけば、どのような状態になれるかビジョンを提示する。

●講義曜日・時間:月曜日4限 14:40-16:10/講義場所:建築棟8F 南北スタジオ/講義形式:対面（一部遠隔）

回	日程	講義テーマ	講師	授業形式
1	10月5日	オリエンテーション：地域創造論 / 副専攻プログラム / 「箱根町」における今回のテーマ課題について	志村真紀（地域実践センター）、箱根町役場	対面/遠隔
2	10月12日 (祝日開講)	個人ワーク1：対象地域に関わる客観的なデータの収集		遠隔
3	10月19日	講義1 これからのまちづくり	山崎満広（客員教授）	対面
4	10月26日	講義2 都市のプランニング・メソドロジー /グループワーク1:未来に向けた仮説(ビジョン) の設定・グループ結成	矢吹剣一(都市イノベーション研究院)	対面
5	11月2日	グループワーク2：現地調査・ヒアリング		現地
6	11月9日	グループワーク3：調査を踏まえたまとめ作業	矢吹剣一・志村真紀	対面
7	11月16日	講義3 箱根町と本学におけるこれまでの取り組み/ロジックモデルの作成に向けた方法論	志村真紀	対面
8	11月30日	グループワーク4：事業・政策立案に向けたロジックモデルの策定/箱根町役場へのご質問・役場からのアドバイス	箱根町	遠隔
9	12月7日	グループワーク5：データ情報を踏まえたロジックモデルとの整合性の確認	矢吹剣一・志村真紀	対面
10	12月14日	【中間発表会】	箱根町役場・山崎満広・矢吹剣一・志村真紀	対面/遠隔
11	12月21日	グループワーク6：中間発表を踏まえた検討調整/他地域における成功・失敗事例の収集	矢吹剣一・志村真紀	(希望によっては遠隔)
12	1月4日	グループワーク7：事業・政策スキームの検討		
13	1月18日	グループワーク8：事業・政策スキームの検討		
14	1月25日	グループワーク9：プレゼンテーションの作成		
15	2月1日	【最終発表会】	箱根町役場・山崎満広・矢吹剣一・志村真紀	対面/遠隔